

報道機関各位

市有建築物の ZEB 化設計指針策定や学校体育館の猛暑対策が高評価！ 「市民が選ぶ！カーボンゼロカル大賞 2026」受賞

北九州市の進める「市有建築物の ZEB^{※1}化」と「学校体育館の猛暑対策」の取組が、このたび「第2回カーボンゼロカル大賞^{※2}」の都道府県・政令指定都市部門で大賞を受賞することが決定しました。

今回の受賞では、建物の断熱性能を高め、空調設備を小型化することで、脱炭素とライフサイクルコストの縮減を両立する市有建築物の ZEB 化に加え、断熱改修と家庭用ルームエアコンを組み合わせた学校体育館の空調実証により、子どもたちの暑さ対策と脱炭素化を同時に進める取組が高く評価されました。

特に、学校体育館の取組は、児童の快適な環境をスピード感をもって整えながら、電気による空調で脱炭素化を図り、全国の学校猛暑対策の壁を破る画期的なモデルとして評価されています。つきましては、下記のとおり表彰式が開催されますので、ぜひご取材ください。

※1 ZEB（ゼブ/Net Zero Energy Building の略称）

室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネを実現した上で、再エネを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物

※2 カーボンゼロカル大賞の概要

脱炭素の取り組みが、我慢を強いたり制約を設けるものではなく、住民の健康や暮らしの快適さ、地域経済の向上につながるものであることを発信し、地域脱炭素に取り組む自治体を応援するため、市民が推薦する自治体の脱炭素施策を、市民団体の代表や専門家が審査して表彰するもの。今年度は第2回。

審査委員長は、藤野純一氏（公益財団法人地球環境戦略研究機関戦略マネジメントオフィスプリンシパル シナジーコーディネーター/上席研究員）

1. 対象事業の概要

(1) 市有建築物の ZEB 化設計指針策定(R8.6)

建物の断熱性能を重視し、空調設備をダウンサイジング(小型化)することで、光熱費だけでなく設備更新費などの投資的経費を中心にライフサイクルコストを縮減する「新しい ZEB」の考え方を導入し、全国に先駆けて既存建築物の省エネ改修にも切り込んだ設計指針。

(2) 家庭用ルームエアコンのよる学校体育館の空調に関する実証研究(R8.7)

屋根や窓に断熱を施した上、体育館内壁面に家庭用ルームエアコン10台を設置し、温湿度等の計測やデータ分析・評価を、官民連携(実証事業者：株式会社ゼネラル)で実施。

2. 表彰式の概要

【 日 時 】 令和8年 10 月28日(水) 14:00～16:00

【 場 所 】 ビジョンセンター新橋 1702
(東京都千代田区内幸町 1 丁目 5-2 平和ビル 17F)

【 形 式 】 オンラインと会場参加のハイブリッド形式

【 参 加 申 込 】 <https://carbonzelocal-award20261028.peatix.com>

【市の出席者】 都市整備局・建築支援課及び教育委員会・施設課課長級以下で対応
(10 分間のプレゼンテーションあり)

問合せ

市有建築物の ZEB 化設計指針について：都市整備局 建築支援課
TEL:093-582-2876 [担当]課長：川合、係長：梅木
学校体育館の空調に関する実証研究について：教育委員会 施設課
TEL:093-582-2361 [担当]課長：有田、係長：田島